



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第2回例会(7月13日)
平成30年7月20日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 坂本広行
川徳デパート内 幹 事 藤村吉隆
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代) 会 報 吉田幸一
例 会 日 毎週金曜日12時30分~ クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ BE THE INSPIRATION:インスピレーションになろう…バリー・ラシン
盛岡RC会長テーマ -80年の歴史と伝統、繋いでいこう奉仕と友情-坂本広行



会員卓話

『おやじの遺言』

海野 尚 君

坂本年度初の卓話をプログラム委員長として、務めさせていただきます。

西日本のほうでは大変な豪雨災害が起きているときに、不謹慎な内容となるかもしれませんが、一番手ということでお許しいただきたいと思いません。

私の父親は、平成十年八月十六日の夜中に亡くなりました。

夜中から結構な雨が降り続き、当日の舟っこ流しが中止となりました。

毎年、父親は馬検場のところで、松尾町で舟っこ流しに出す舟に龍を書いていました。毎日のように母親に車いすを押させて舟っこの仕上がりを見にいていたのを覚えています。

その年は一週間おくれの二十二日に延期になり「我が家の前を舟っかがわざわざ寄って明治橋に向かっていきました。」

毎年十六日は舟っこ流しとともに、送り盆でみんなに親父は送ってもらっているようです。

その父親が遺言のような形で残っていたようなものがあります。

“あわしま・こんせい祭り”という奇祭であり

ます。知る人は知る、知らない人は全く知らないと思います。

この祭りは、古くから盛岡藩にあって「淡島神社」(淡島さん、これは北山のもりおかかいうん神社にあります)「智和伎神社」(ちわきじんじゃ)(金勢さん、これは川目の沢田にあります)に祭られていた女性神と男性神を合体・神事にしようと始まったお祭りであります。

この二つの神様を結婚させようと考えたのが、私の父親と画家の吉田清志さん、医師大沢謙一さんでした。

この男女二つの守護神は、それぞれ金勢さん、淡島さんという名前で、単独でのお祭りは全国各地で行われていますが、「合体」神事はあまり例がありません。

淡嶋神社(あわしまじんじゃ)は和歌山県和歌山市加太ある神社。加太淡嶋神社(かたあわしまじんじゃ)ともいわれます。全国にある淡島神社の総本社であります。

淡島神は婦人病にかかったため淡島に流されたという伝承から、婦人病を始めとして安産・子授けなど女性のあらゆる下の病を快癒してくれる神社とされています。かつては祈願のため男根形や自身の髪の毛などが奉納されていましたが、現在

はそれらに代わって自身の履いていた下着を奉納する女性が多いと言われています。

古来より温泉は女性器といわれていたことから、温泉が枯れずに湧き続けるように男根である金精神を祀っているという温泉も多い。金精神を祀っている温泉としては、花巻の大沢温泉のこんせい祭りは有名だと思います。

話はこちらに戻します

まずはお見合いをすることになり、平成九年十一月（淡島神社の例大祭）に智和伎神社（ちわきじんじゃ）でお祓いした「金勢さん」を、もりおかかいうん神社の中にある淡島神社の「淡島さん」と対面を果たしたのです。

その次の年平成十年の四月十六日（智和伎神社の例大祭）には、「淡島さん」が「金勢さん」のところに出向いてお互いを認め合い、次に中津川で本祭を行うことを祈願しました。

その年に父親が亡くなり、その遺志を継いだ吉田清志さんが会長となり、「あわしま・こんせい祭り」推進の会がつけられました。

まず祭りは、もりおかかいうん神社の主催として行なうこととなり、推進の会の呼びかけ人を募ることになりました。

趣旨書の内容は、人間の生きるべき基本的大地は“祭りの賑わい”にある。しかも、もっとも素朴な産土の祭りの形態こそが、人間本来の活力を励まし醸成するものであるとの考えに基づいたものです。

盛岡に古くから伝わる「金勢さん」「淡島さん」の祭りをさらに市民の身近な産土の祭りとして、未来に向けた新たな賑わいをつくり、市民生活に一層の笑いに満ちた活力を盛り込んでいきたいということでした。

素朴な奇祭として、郷土盛岡の新しい祭りとして、市民の参加のもとに、中津川河畔で「もりお

かかいうん神社」宮司のもと、祭場を結界し金勢、淡島二神を迎え「あわしま・こんせい祭り本祭儀・まぐわいの儀」を斎行、盛岡市勢の振興、発展と市民の隆昌を祈願するとした。

さらには現在懸念されております“少子化”の問題を憂慮し、子孫繁栄ひいては家内安全、また、五穀豊穡をも祈願申し上げるものでございます。

当初私の父親が、七夕ではないけど、淡島さんと金勢さんを、年に一度は中津川の川辺で営みを交わさせたいと話が盛り上がり、順次当時、神輿団体「南部睦会」の協力のもと「金勢さん」「淡島さん」の祭典において、それぞれ「よばいの儀」「おしのびの儀」が、祭儀に従って斎行してきました。

そろそろ本祭儀である“まぐわいの儀”というとき、私の父親は残念ながら祭りをみることなく亡くなりました。

三年後平成十三年になって、父親の弔いではないですがようやくこの祭りを実行することになりました。

第一回「あわしま・こんせい祭り」は平成十三年七月二十日（海の日）早朝五時前から太鼓や笛を鳴らし、祭りの開始を告げました。五時になると上の橋下流の中津川河畔で、もりおかかいうん神社荒川宮司、智和伎神社吉田宮司により、それぞれの両神輿に神様をお呼びして神事を行い、おごそかに始まりました。

その後、南部睦会の男衆、女衆が担いだ両神輿が川の中に入っていく、ずぶぬれになりながら川の中を掛け声とともに回り、焦（じ）らしながら近づいていく。

そして、何回も挑戦してようやく合体（まぐわいを）果たしました。

もともとの構想が、朝靄（もや）がたつなかで“まぐわいの儀”を斎行したいと、親父の強い希望があって、朝五時から始めたのですが、なかなか

か霧も霧もたたない。

そして、河原で、朝っぱらから、笛、太鼓、鐘を鳴らしていくら夏でも周り近所にひどい迷惑ではないか。

そして参列者も朝早すぎて集まらない。なるべく多くの市民に来てもらいたいとのことで、三年目からは、中の橋の下流に場所を移し、夕方からの祭儀、まぐわいの儀式を取り行うことになりました。

最近の自然環境の変化もあり、川の増水も頻繁であることから、足元も危険になってきていて、事故でも起きたらせつかくのお祭りも、もとももないということで、四年前から市役所からの許可もらい、岩手公園の芝生広場の方で祭儀を行っております。

いま現在このあわしまこんせい祭り推進の会の会長を私が引き受けてしまっているのですが、南大通の村井産婦人科の院長先生が会長をやっている時に、私たち兄弟（私の兄と私）がお祭りに呼びつけられました。

一通りお祭りが進行している中で、お前たちの親父さんが考えたお祭りなんだから、そろそろ引き継いでやってくれといわれました。

推進の会の会員にさせられ、二年くらいは村井会長のもと活動してきたのですが、そろそろ会長を引退させてくれということになり、兄弟どちらかが引き受けなければならない状況になりました。

兄はこれまでも親父の亡き後、実家を守り、舟っこづくりも継いでいます。そしてこれも親父が始めたお祭りですが、松尾神社の夜店というお祭りです。

それが、あわしまこんせい祭りとは何年かごとに重なるので、お前があわしまこんせい祭りのほうをやれと、兄から言われました。

夜店は、北川金魚屋さん（盛岡水族館）からグリーンビレッジ（松尾神社）に向かって道路を閉

鎖して開催しています。

昔、夜店の時に親父は乞食の格好してうろうろしていたようです。そして、ショーツに絵柄をかいて、売っていたとのこと。盛岡芸妓たちが喜んで買っていたようです。

今年十八回目となるこの祭りは、三年前からより多くの参列者をご神体に近づけるように担ぐ神輿の形から、ご神体を押して一緒に合体に携われるように山車の形にしました。

祭り当日は、午前十時から肴町の北銀のわきに「淡島さん」「金勢さん」を組立て鎮座させます。

午後一時には「淡島さん」「金勢さん」を一体づつ、みんなで押して肴町から中の橋を渡って、両陣営に納めます。

五時ころから、伝統さんさを奉納し、その後「淡島さん」「金勢さん」の神殿でもりおかかいうん神社、智和伎神社の宮司により神事を行い、園内渡御（えんないとぎよ）による「まぐわいの儀」となります。

何回か焦（じ）らしながら、めでたく合体となります。

再度さんさ踊りの奉納を行い、盛岡平和繁栄祈願祭を斎行いたします。

その後参列者とともに直会を行い、さらに盛岡の平和、繁栄を祈願しお開きとなります。

盛岡の奇祭という触れ込みで、ネット上にも乗っております。ご覧いただければ幸いです。（“あわしま・こんせい祭り”で検索）

再度申し上げますが、この祭りは、盛岡地域の経済、文化の発展、子孫繁栄、家内安全、五穀豊穡を祈願するもので、市内の盛岡八幡宮、桜山神社、もりおかかいうん神社（淡島）、智和伎神社（金勢）各神社から神職さまが一堂に参列してご祈祷申し上げます。これもまた珍しいことであ

ると思います。

これから皆様のご協力をさらにいただき、盛岡市がますます発展し明るく楽しい街になっていけるよう、このお祭りを継続していきたいと思っておりますので、ご協賛、ご協力をよろしくお願いしなさい、この話を終わらせていただきます。
 ありがとうございます。

今回、プログラム委員長を拝命いたしました。

焦って段取りつかず、私が一発目の卓話をする事になりました。内容的にはちょっと?というものでしたが、責任として最初に卓話をしたということでお許しを願いたいと思います。

坂本会長年度は八十周年記念と田中ガバナー年度と盆と正月が一度に来たようなものだといった人もいようなので、八月三日の盆前の卓話を藤村幹事お願いしております。

そして正月一月には、坂本会長に何とか引き受けていただくことになりました。

8月31日は盛岡芸妓の「てい子姉さん」に声をかけております。

これから卓話のお願いを会員皆さんにしたいと思いますので、なにとぞご協力をよろしくお願いいたします。

例会報告

第2回例会
 平成30年7月13日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 坂本広行会長
- ・ロータリーソング(我らの生業)
- ・会長報告 坂本広行会長

- ・皆出席バッチ 千葉隆史君(6年)
- ・誕生祝 小川惇君
- ・結婚祝 櫻下 信君・吉江信博君
- ・幹事報告 勝 雅行副幹事長
- ・終了後臨時理事会開催
- ・委員会報告

【ニコニコBOX】

◆菅原浩幸君…皆さまのおかげをもちまして、7月10日に国土交通大臣表彰を頂きましたのでニコニコ致します。ありがとうございました。

出席報告

会員数/74名

出席数/44名

出席率/63.38%

前々回/休会



プログラムのお知らせ

- ・7月20日(金) 第1回クラブアッセンブリー 栃内明啓第1分区ガバナー補佐訪問
- 27日(金) 納涼家族会(27日例会変更)
- ・8月3日(金) 卓話
- 10日(金) 卓話
- 17日(金) お盆休会
- 24日(金) 卓話

●本号編集担当/伴 亨